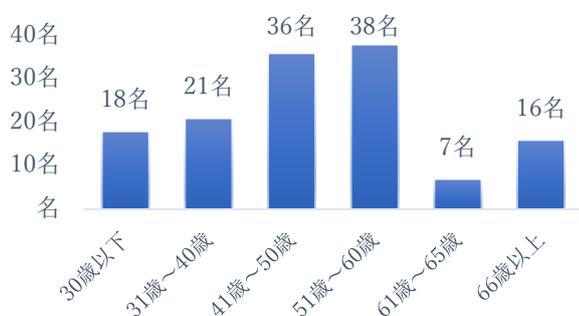


1. 職員状況(令和5年3月31日現在)

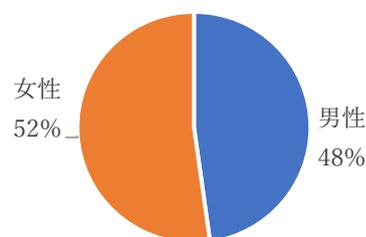
	施設長	介護支援専門員	生活相談員	管理栄養士	機能訓練指導員	看護職員	介護職員	介護補助員	事務員	環境整備	送迎	宿直員	合計
桜ヶ丘	1	2	3	1	2	7	45	1	2	4	0	6	73
荏田	1	2	1	1	1	9	35	2	2	4	2	3	63

※職員数は非常勤(パート職員)を含む

■職員年齢構成



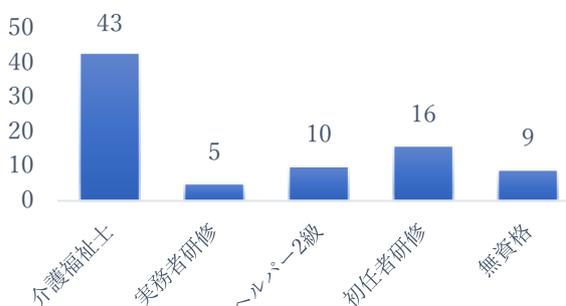
■職員男女割合



■常勤/非常勤割合(介護職員のみ)



■資格者構成(介護職員のみ)



2. 令和5年度介護老人福祉施設スミール桜ヶ丘実績報告

I 入居者の生活を支えるため各種会議を通してサービスについて検討し施設全体で取り組み提供する

令和5年度は、自立支援介護を基本として、各種会議・委員会活動、訪問診療や受診から入居者一人ひとりの個々の状態に合わせた日常生活の目標を医療・多職種と連携を取り計画的に定めることができました。職員の連携において介護ソフトの活用による経過記録作成が利点となりました。しかし、それぞれの職種による対応人数の差が記録内容などに影響する事例もあるため記録作成が課題となりました。コロナウイルス感染症が5月より5類感染症移行により対面会の提供から居室内での面会を感染対策の徹底とご家族の協力のもと再開することができました。

■苦情相談

時期	区分	内容	申立人	対応
12月	特養	面会時の室温について	家族	ご家族に今後の対応を説明し理解をいただく。

II 職員の組織力の向上を目指した人材育成に取り組んでいく

自立支援介護委員会のメンバー構成をユニットリーダーとしました。日々の業務の中で、自分たちが参加している自立支援介護 Web 研修の取り組みについて記録を残すことでそれぞれの入居者への課題の把握が行われ、ユニットリーダーを中心に検討することにより、それぞれの職員の意見がより活発になったと感じることができました。このことにより、職員一人ひとりが組織または、フロアでの自分の役割を認識することができ組織力の向上を図ることができました。そして、自己で学ぶ機会としてオンラインや集合形式での外部研修にも参加する機会を作ることができました。

■スキルアップ研修

4月	褥瘡予防及び疾病予防	10月	法令遵守(個人情報)
5月	尿路感染症	11月	認知症ケア(自立支援)
6月	防災訓練	12月	ノロウイルス感染症対策
7月	身体拘束の適正化及び高齢者虐待防止	1月	感染拡大のため中止
8月	身体拘束の適正化及び高齢者虐待防止	2月	高齢者虐待/身体拘束廃止
9月	事故発生の防止	3月	事故発生防止

※その他、随時外部機関実施のオンラインセミナーへ個別に参加しています。

III 安全管理を通して安全な職場環境を作る

安全管理として、毎月施設内で使用している福祉用具や備品について確認する時間を設けることで破損や故障などに早期に対応することができました。破損や故障への早期の対応は、入居者や職員の事故防止の役割と予防策を考える根拠とすることもできました。このことから、職員同士の対話の時間を作ることもつながりより安全な方法での介護の検討につなげることができました。

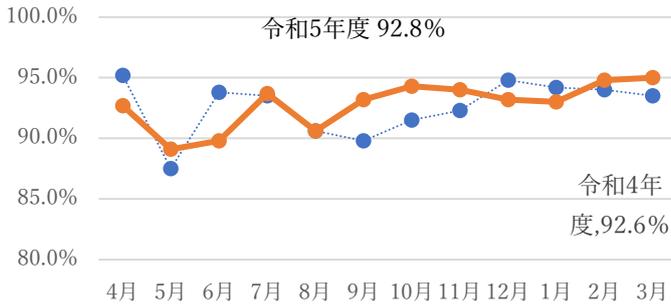
IV 持続可能な施設運営を目指し取り組んでいく

年間目標稼働率を95%としておりましたが、コロナウイルス感染症による入院者が増えた時期があり、目標を達成することができませんでした。しかしながら、年間通しての入院者数は前年よりも少なく経過しております。これは協力医療機関との連携による体調不良等の早期発見に努めた結果と考えており、この結果を今後も継続できるように努めてまいります。施設内で使用する福祉用具については、現在の入居者の状況を考慮して選考を行いケアの安全性と身体的負担の両方を鑑みたものを検討購入することができました。

■稼働率推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
延べ人数	2780名	2763名	2694名	2906名	2808名	2797名
稼働率	92.7%	89.1%	89.8%	93.7%	90.6%	93.2%
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
延べ人数	2922名	2820名	2888名	2884名	2750名	2945名
稼働率	94.3%	94.0%	93.2%	93.0%	94.8%	95.0%

(参考)稼働率前年度比



	計	
	(R5年度)	(R4年度)
延べ人数	33957名	33872名
稼働率	92.8%	92.6%

V 地域との関係の継続を目指し施設の広報活動を行っていく

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症移行により、地域交流スペースの貸し出しをコロナ禍以前の体制に戻しました。また、大和市社会福協議会「福祉の魅力を伝えるプロジェクト」への介護職員1名の派遣。大和市高齢者福祉施設協議会「高齢者施設取組発表会」への参加など地域での合同で行われる取り組みに積極的に参加することができました。

3. 令和5年度短期入所生活介護スミール桜ヶ丘実績報告

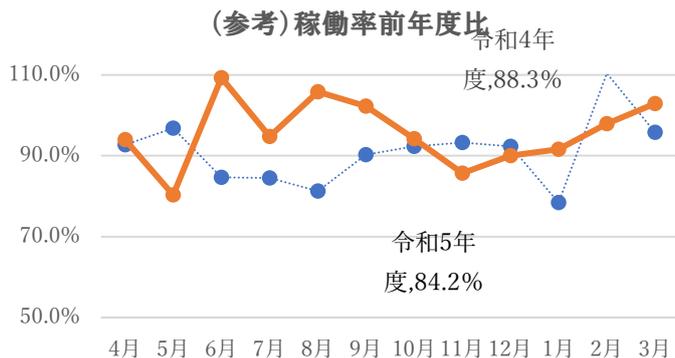
- I 稼働率 94%を目指し、地域の居宅介護支援事業所への広報活動を継続して行っていく。
- II 多くの利用者を受け入れられるよう個別性を意識した介護サービスを提供する。
- III 自立支援を目標に本人の意欲・残存機能を活かしたケアを実践する。

短期入所生活介護では、地域の居宅介護支援事業所への広報活動を継続し空床利用などにより多くの利用者の受け入れに対応した結果、稼働率目標を達成することができました。定期利用者には個別性を意識した介護サービスの提供と自立支援を目標に残存機能を活かしたケアに取り組んだこともあり、リピーターの獲得に繋がったと考えております。

■稼働状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
実人数	27名	32名	40名	37名	37名	34名
延べ人数	282名	249名	328名	294名	328名	307名
稼働率	94.0%	80.3%	109.3%	94.8%	105.8%	102.3%
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実人数	34名	28名	33名	30名	33名	34名
延べ人数	292名	257名	279名	284名	284名	319名
稼働率	94.2%	85.7%	90.0%	91.6%	97.9%	102.9%

	計	
	(R5年度)	(R4年度)
実人数	82名	76名
延人数	3503名	3318名



稼働率	95.7%	90.5%
-----	-------	-------

4. 令和5年度介護老人福祉施設スマイル荏田実績報告

I 入居者個々の願いに真摯に向き合い、生活全般において心身の状況に応じた質の高いサービスを提供する

入居者様の最初の受け入れに際して、開所前に契約会を開催しました。この際に責任者よりサービス内容の説明を行い、介護職員を含めた多職種がご本人やご家族に関わることで、個々の事情を把握していきました。また多くの入居者様をご自宅から居を移してこられる中、スマイル荏田での環境に慣れていただき生活の安定を念頭に置いてサービス提供をいたしました。各医療機関との連携の構築においては、多少の混乱は生じたものの、業務を確立していきました。習字教室を定期的に開催して作品は文化祭で公開しました。外部の講師を招いて月1回のフラワーアレンジメントのサークル活動を安価にて提供しています。日頃の生活の様子を Instagram を活用することでリアルタイムで施設の行事や取り組みを発信することができました。面会に関しては制限は設けたものの、開所当初より毎日自由にできるようにしたことは一定の評価をいただいております。ご家族様にご不便や混乱を招いてしまったこともありますが、頂いたご意見は情報共有を行い、サービス向上に努めました。

■苦情・相談受付

時期	区分	内容	申立人	対応
7月	特養	衣類が紛失	家族	他入居者様が居室に入り持っていたことを説明
7月	ショート	入浴の提供漏れ	家族	家族へ謝罪する
8月	特養	職員の対応について	本人	傾聴するとともに対象職員に内容を伝える
9月	特養	持ち込み食品の破棄について	本人/家族	賞味期限切れの食品は破棄していることを説明
9月	特養	入院におけるリハビリについて	家族	医療機関と施設でのリハビリ訓練の考え方と限界を伝える
9月	特養	個人所有物の行方不明	本人/家族	発見までの経緯を書面にて家族に提出
9月	特養	転倒事故について	家族	転倒を全て防ぐことはできないことを説明し対策を協議
10月	特養	救急搬送の家族対応について	家族	施設対応の限界と家族対応の必要性にご理解を求める
10月	特養	転倒事故について(再)	家族	改めて施設サービス内容についてのご理解を求める
10月	特養	精神科処方について	家族	担当医師及びクリニックからの説明
11月	特養	加湿器の水が空になっている	家族	家族へ謝罪する
11月	特養	居室の清掃について	家族	家族に謝罪をして可能な範囲で家族協力もお願いする
2月	特養	精神科処方について(再)	家族	当時のご本人の状況・状態を説明してご理解を求める

II 適正適切な人員配置のもとサービスの質と業務効率を両立し魅力のある職場環境を整備する

オープニングスタッフとして採用した介護職と専門職に対し、開所前の1ヶ月間を研修・準備期間として法定研修を含めた計100時間の研修を実施しました。またこの期間を利用して、職員と共に業務フローや指針の作成を行いました。業界全体の人材難のなか、開所当初より法人として新たな職種となる介護現場のシフト交換などの周辺業務を担う介護助手を採用することで、介護現場の生産性向上を図っております。学生アルバイトも採用しており、1名の職員が今春の新卒として介護職で入職しました。資格取得訓練校への訪問や、説明会の開催など、採用情報の発信に努めております。

■施設内研修(スキルアップ研修)の開催

5月	オープニングスタッフに対して、雇入時及び法定研修含む合計100時間の研修を実施	10月	メンタルヘルス
6月	感染症及び食中毒予防	11月	事故発生の防止
7月	医療ケア(膀胱留置カテーテルについて)	12月	認知症ケア
8月	身体拘束の適正化及び高齢者虐待防止	1月	感染拡大のため中止
9月	感染症(疥癬について)	2月	身体拘束の適正化及び高齢者虐待防止
		3月	事故発生防止

III 施設開設に万全を期し、法令順守のもと組織体制を確立する

様々な社会情勢の影響により、当初の開所予定から2ヶ月の遅れが生じましたが、各関係機関には施設の取り組みなどもご賛同いただき、5月29日付で指定通知が発行され、6月に67名の入居者様を受け入れることができました。満床にすべく、継続的に入居説明会を施設で開催しており、横浜市の広域におよぶターゲットに対し、FAX 営業や広報活動を行いアプローチをしていきました。しかしながら新規の入所申込数の苦戦が続き、満床にできず稼働率に於いては目標を大きく下回る結果となってしまいました。2024年度介護報酬改定も控える一年で、新規事業所としての構築と今後求められる新たな展開に向け、事業所運営を行っています。

■稼働率推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
延べ人数	-	-	1582名	2402名	2387名	2488名
稼働率	-	-	40.6%	59.6%	59.2%	63.8%
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
延べ人数	2612名	2579名	2654名	2582名	2421名	2570名
稼働率	64.8%	66.1%	65.9%	64.1%	66.5%	63.8%

(参考)稼働率推移



	計
	(R5年度)
延べ人数	24277名
稼働率	61.4%

■入退居状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
入居	-	-	67名	18名	2名	3名
退居	-	-	0名	0名	3名	5名
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入居	6名	5名	0名	3名	1名	4名
退居	2名	2名	0名	6名	2名	5名

	計
	(R5年度)
入居	109名
退居	25名

IV 地域社会に開かれた信頼され愛される施設を創りあげていく

開所前に実施した近隣住民説明会では大きな混乱もなく無事開所を迎えることができました。また開所前の施設見学会にも多くの方にご来場いただき、まずはどのような施設かを知っていただくことができたと感じております。開所後には、入居者様向けに獅子舞や落語のボランティアなどのご協力をいただいております。社会福祉協議会からご依頼をいただき、地域の方に対し専門職による出張講演を複数回行うこともでき、地域に根ざした活動の一步を踏み出せたと考えております。

5. 令和5年度短期入所生活介護スミール荏田実績報告

I 施設サービスが自宅での生活と連続したものとなるよう配慮しながら量と質サポートしていく

II 利用者・家族にとっての価値・ニーズを組織的に把握しサービス提供を行う

III 数あるサービスから選ばれる施設を目指し月間稼働率95%の確保を達成する

ショートステイの利用受け入れは空床利用という形でスタートさせました。居宅支援事業所への新規開設の告知を行い、お申込みから受け入れ体制の構築を行っています。新規開拓を要するなか、当初計画していたショートユニットの体制が整わず、稼働率について目標の達成に至りませんでした。また、数多くある同型の事業所から選んでいただくためには、様々な事情を抱えた利用者様の状況に応じての受け入れを実施する必要性を感じています。

■稼働率推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
延べ人数	-	-	0名	63名	0名	0名
稼働率	-	-	0.0%	20.3%	0.0%	0.0%
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
延べ人数	3名	51名	99名	58名	38名	146名
稼働率	1.0%	17.0%	31.9%	18.7%	13.6%	47.1%

(参考)稼働率推移



	計
	(R5年度)
延べ人数	458名
稼働率	15.1%